

舟運・観光活性化の 取組事例等

- 羽田空港船着場の取り組み（日本空港ビルデング(株)）
- 有明棧橋を不定期航路事業者に開放します！（東京都港湾局）
- 隅田川の両国防災船着場を一般開放（東京都建設局）
- 船着場利用に向けた社会実験（荒川下流河川事務所）
- 利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議
（東京都都市整備局）
- 羽田～秋葉原間の舟運の実現を目指した社会実験
（国土交通省総合政策局公共事業企画調整課）
- 日本の魅力を活かした船旅の活性化（海事局内航課）

Haneda Airport Wharf

羽田空港船着場の取り組み

平成27年9月29日

日本空港ビルデング株式会社

H27.7.20「水のまち東京・舟運まつり」:海の日クルーズ

航路：お台場海浜公園棧橋 ～ 羽田空港船着場（定期航路と同航路）

参加人数：合計50名（内訳：大人30名、小学生以下：20名）

参加費：大人2,000円、小学生以下無料

内容：UnderJETポイント20分間・船内：子供向け操舵室体験・スタンプラリーを実施

※ドリンクおひとり様1本、羽田空港限定商品「焼チーズケーキラスク」をプレゼント



H27.9.26 空の日体験クルーズ

航路：羽田空港船着場 ～ 羽田空港船着場（羽田空港周遊）

参加人数：合計400名

参加費：大人1,500円、子ども1,000円

内容：UnderJETの体験クルーズを実施

※ドリンクおひとり様1本をプレゼント



H27.9.19~26 「秋葉原・天王洲・羽田空港舟運プロジェクト準備会」: 舟運社会実験

航路：羽田空港船着場 ～ 天王洲 ～ 秋葉原（万世橋）

協力内容

- ・ 羽田空港船着場から国際線ターミナル間の送迎バスの運行
- ・ 国際線ターミナルでの案内業務 等

秋葉原・天王洲・羽田空港舟運プロジェクト準備会(実験主体)

運河クルーズ

社会実験 舟運運航
9/19(土)~26(土)
シルバーウィーク
2015年 期間限定

早期割引
お帰りにクルーズ
早期割引で
お帰りにクルーズ

秋田 → 羽田 船賃
2,900円 (お帰りにクルーズ 2,000円)

エキサイティング・アクセス!
運航コース・時刻表

秋葉原 (万世橋)
天王洲 (ZEA運河クルーズ)
羽田 (羽田空港船着場)

運河クルーズ
送迎バス

運航	大人(小学生以上)	小学生以下
秋葉原 → 羽田	2,800円 (2,500円)	2,000円 (1,500円)
秋葉原 → 天王洲	2,800円 (2,500円)	1,500円 (1,000円)
天王洲 → 羽田	1,800円 (1,500円)	900円 (700円)

運航 株式会社ジール ZEAL TEL. 03-3454-0432
www.zeal.ne.jp
03-3454-0432



国際線ターミナル



羽田空港船着場

その他：定期航路運航・ビアクルーズの実施

【定期航路】
 航路：横浜 ～ 羽田空港船着場 ～ お台場海浜公園
 ※毎週日曜日に各区間1往復運航
 運航料金：大人2,500円、小人1,250円
 ※2014年7月から運航中

【H27.7.31～8.31ビアクルーズ】
 航路：羽田空港船着場 ～ 羽田空港船着場
 運航料金：大人4,980円
 UnderJET ビアクルーズを9回に亘り実施し、
 約900名のお客様に乗船いただきました



有明棧橋を不定期航路事業者に開放します！

港湾局では、東京港内の屋形船やクルーズ船などの不定期航路事業のニーズが高まる中、都民に親しまれる港づくりの一環として、舟運活性化に向けた取組をすすめています。今般、水上バスの発着所である有明小型船発着所（以下「有明棧橋」という。）について、不定期航路事業者に開放する実証実験を行いますのでお知らせします。

1 所在地及び名称

江東区有明三丁目 3 1 番地先 有明小型船発着所（有明棧橋）

2 実証実験期間

平成 27 年 6 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 利用対象者

海上運送法に基づき、有明棧橋を起点又は終点とする ①旅客不定期航路事業の許可を得た方、②人の運送をする内航不定期航路事業の届出をした方で、別紙「有明棧橋の利用について（概要）」に記載の条件を満たす方

なお、利用に当たっては、「有明棧橋利用協議会」に入会していただく必要があります。詳細は、別紙をご覧ください。

4 利用時間

10時から22時まで

年末年始（12月29日から1月3日）を除きます。

5 料金

棧橋を利用する場合は、協議会に以下の料金をお支払いただきます。

小型船の種別	片道	往復
旅客定員 45 名以上	5,000 円	8,000 円
旅客定員 44 名以下	3,000 円	5,000 円
旅客定員 12 名以下	1,000 円	1,500 円

「東京都長期ビジョン」事業

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。
都市戦略 2 「高度に発達した利用者本位の都市インフラを備えた都市の実現」
政策指針 6 「誰もが円滑かつ快適に利用できる総合的な交通体系の構築」

<お問い合わせ先>

港湾局港湾経営部監理担当課長 吉田
(直通)03-5320-5550 (内線)内線43-260

有明棧橋の利用について（概要）

1 利用資格

この施設は、「有明棧橋利用協議会」（以下「協議会」という。）に登録した会員が利用することができます。施設の使用にあたっては、協議会が利用調整を行い、都への手続を行います。

協議会の加入条件は、海上運送法に基づき、有明棧橋を起点又は終点とする ①旅客不定期航路事業の許可を得た者、②人の運送をする内航不定期航路事業の届出をした者（ただし、旅客定員 13 人以上の船舶を運航する場合は、入会から 1 年以内に旅客不定期航路事業の許可を得ることが条件）のいずれかで、以下の条件を満たす者です。

- (1) 次に掲げる団体の会員で、東京港内で他に海上運送法の許可等に基づく旅客運送の実績を有する事業者
- ア 屋形船東京都協同組合
 - イ 東京湾遊漁船業協同組合
 - ウ 江戸屋形船組合
 - エ 東京観光遊漁船協議会
- (2) (1) の会員以外で、東京港内で、他に海上運送法に基づく旅客定期航路事業又は旅客不定期航路事業の許可を得て、その運航実績を有する事業者
- (3) その他上記以外の者で協議会運営理事会で特に必要と認める者

2 入会登録手続

有明棧橋を利用するためには、協議会への会員登録が必要です。（申請時に必要な書類等はお問い合わせ下さい。）

3 利用時間

10時から22時まで

※年末年始（12月29日から1月3日を除く）

4 料金

棧橋を利用する場合は、協議会に以下の料金をお支払いいただきます。

小型船の種別	片道	往復
旅客定員 45 名以上	5,000 円	8,000 円
旅客定員 44 名以下	3,000 円	5,000 円
旅客定員 12 名以下	1,000 円	1,500 円

5 利用手続き

申込は電話で「東京港埠頭株式会社 竹芝客船ターミナル事務所」へ予約の申込を行って下さい。

予約の申込は、利用する月の3か月前の1日から受付開始します。1日が土日祝日の場合は休日明けの平日からの受付となります。予約の申し込みは、利用日の1週間前までに行ってください。

6 その他

利用にあたっては「有明棧橋利用規約」に記載しております利用に伴う注意事項、禁止行為、その他の記載事項について御確認の上、入会登録手続きを行って下さい。

利用規約は東京港埠頭株式会社のホームページをご覧ください。

<http://www.tptc.co.jp/>

<入会・利用・予約に関するお問い合わせ>

東京港埠頭株式会社 竹芝客船ターミナル事務所

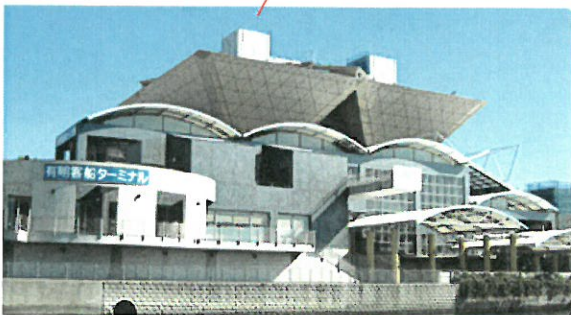
住所 東京都港区海岸 1-16-3 電話番号 03-3431-6500

(受付時間：平日 9 時 00 分～17 時 00 分)

有明棧橋案内図

- 交通アクセス：ゆりかもめ「国際展示場正門」駅 徒歩約3分
りんかい線「国際展示場」駅 徒歩約7分

○案内図



～水辺のにぎわい拠点として～

隅田川の両国防災船着場を一般開放

東京都はこれまで、江東区の越中島防災船着場など3つの防災船着場で一般の船舶が利用できるよう開放してきました。

隅田川では水上バスや屋形船などでにぎわっており、今回、さらに東京の観光気運を盛り上げ、両国周辺の舟運ニーズに対応するため、両国防災船着場を試行で開放します。また、舟運の活性化を図るため、新たな料金を設定しました。

今後、より多くの方に水辺の風景を楽しんでいただけることを期待しています。

【開放する施設】

- ① 名称：両国防災船着場（隅田川左岸）
- ② 所在地：東京都墨田区横網一丁目地先
- ③ 形状：浮棧橋形式（長さ30m、幅5m）

【実施内容】

- ① 実施期間：平成27年6月5日（金）から平成28年3月31日（木）までの毎週金土日及び祝日の月曜日（年末年始を除く。）
- ② 利用時間：午前11時から午後7時まで
- ③ 対象船舶：全長30m、喫水2mまでの動力船（水上バイクを除く。）
- ④ 利用方法：予約制（受付開始日：平成27年5月11日（月））
- ⑤ 利用料金：・営業船（屋形船など）

種別	料金	都の防災船着場を1日2回利用する場合の取扱い
定員45名以上	5,000円/回	8,000円(20%割引)
定員44名以下	2,000円/回	3,000円(25%割引)

※ 越中島・明石町・桜橋を含め、都の防災船着場における新規の料金設定。

・非営業船は、船舶の長さに応じ2,000円/回 又は 1,000円/回

【管理運営及び予約先】

公益財団法人東京都公園協会

水辺事業部水辺ライン課

電話受付 03-5608-8955

受付時間 9:00～17:00（平日）



両国防災船着場

位置図



J R 総武線 両国駅西口徒歩3分
都営大江戸線 両国駅 A3 出口徒歩6分

[問い合わせ先]

建設局河川部指導調整課 城田

電話 03-5320-5416

都庁内線 41-430

記者発表資料

防災船着場をもっと身近な施設に 『船着場利用に向けた社会実験』～ 一般利用者へ対象を拡大 ～

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場設置が予定されている東京湾臨海部は、荒川・隅田川・江東内部河川といった河川を通じて都市部とアクセスが可能であるため、河川舟運は活性化の好機と考えています。一方で、災害時の復旧活動のために河川に整備された防災船着場は、一般の方の認知度が低いのが現状です。

平常時利用を促進し認知度を向上するため、昨年度は社会実験として事業者を対象に防災船着場の開放を行いました。

今年度は、一般利用者の船舶まで利用対象を拡大し、より多くの利用を促すことで、開放に向けた、自己責任を基本とした利用ルールの検証を行います。

1. 実施内容について(位置図等は別紙1参照)

日 時:平成27年6月15日(月)～11月30日(月)

対象船着場:一般利用者:・荒川下流河川事務所管理の防災船着場:2箇所
(小松川・岩淵)

事業者:・荒川下流河川事務所管理の防災船着場:10箇所
(新砂・小松川・堀切・足立・新田・岩淵・川口・板橋・戸田・志茂)
・江東区管理の防災船着場(亀戸中央公園)
・江戸川区管理の防災船着場(平井水上ステーション)

※ 堀切は葛飾区、岩淵は北区、戸田は戸田市に共同管理者としてご協力いただいております。

2. 船着場利用方法について

荒川下流河川事務所ホームページにて、「船着場利用の手引」を掲載しておりますので、ご確認の上、利用申込みをお願いいたします。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00133.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
東京都庁記者クラブ(東京都) 川口市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

総括地域防災調整官

地域連携課長

かのう ゆたか

狩野 豊

かげやま きよ

影山 希世

TEL:03-3902-2067

TEL:03-3902-8745

「自己責任を基本とした船着場利用ルール」の社会実験の詳細

◆目的

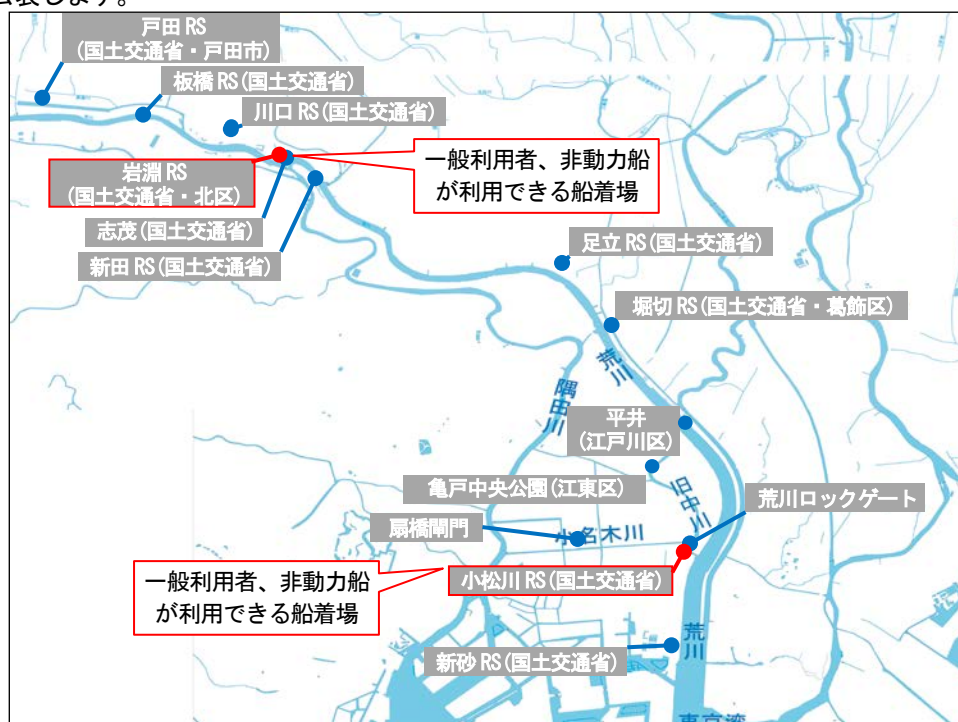
- 荒川等に整備されている防災船着場の、平常時の利用促進を目指すため、事業者及び一般利用者を対象に「自己責任を基本とした船着場利用ルール」による船着場利用の試行・検証を行う。
 - 未開放や利用が少ない船着場の利用を活性化させ、管理者の立会なしで船着場を開放できる仕組みづくりの推進を図る。
 - 事業者や一般利用者が利用できる船着場の増加を図る。

◆概要 (社会実験は、東京低地河川活用推進協議会において検討・協議しております。)

項目	実施内容
利用対象者及び船舶	事業者、一般利用者の、動力船、非動力船 ※一般利用者には、NPO 法人等の非営利団体も含む
実施期間	平成 27 年 6 月 15 日 (月)～11 月 30 日 (月) (5.5 ヶ月)
対象船着場	国：荒川リバーステーション 9 箇所 (荒川)、志茂防災船着場 (新河岸川) 江東区：亀戸中央公園乗船場 (旧中川) 江戸川区：平井水上ステーション (荒川) ※一般利用者及び非動力船が利用できるのは、小松川 RS 及び岩淵 RS のみ
利用料金	社会実験での利用は無料
利用時間	荒川・新河岸川の船着場： 9:00～日没 亀戸中央公園： 9:00～15:30 (ただし 7/1～8/31 9:00～17:00) ※利用時間は小名木川にある扇橋閘門の閉門時間 1 時間前まで
利用方法	・ 利用船着場及び利用日時を事前に申し込み (WEB 又は FAX) ・ 船着場の門扉は事務局が開錠 (鍵の貸与無し)
評価方法	① 利用状況の確認 (トラブル有無、安全面の課題等) ② 事業者等・乗船者へのアンケート、ヒアリング実施

※荒川ロックゲートは、12 月 1 日から 3 月末まで工事のため船の通行ができません。期間が決まりましたら、事務所 HP 等で公表します。

◆対象船着場位置



【参考】東京低地河川活用推進協議会について

東京低地河川活用推進協議会は、荒川下流管内、隅田川及び江東内部河川に設置された船着場の平常時利用について、民間開放とこれによる利用促進を目指し、河川管理者、施設管理者、学識経験者、関係諸団体・機関等が、その実現に向け協議することを目的としたものです。

～構成～

学識経験者、国土交通省 (荒川下流河川事務所、東京港湾事務所)、東京都 (建設局、産業労働局)、葛飾区、墨田区、江東区、江戸川区、その他関係諸団体

タイムスケジュール

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

高水敷エリア

1	カニ採り体験&投網見学 ボランティア体験	①カニ採り 10:10~11:00	②カニ採り 13:25~14:15				
2	舟運の歴史散策ツアー	①10:30~11:30	②13:30~14:30 特別便① 13:50~14:50 特別便② 15:20~16:20	③15:00~16:00			
3	出張 荒川知水資料館	10:00~17:00					
4	高機動車・野外炊具 防災パネル展示	10:00~17:00					
5	江東区による 水害対策 パネル展示コーナー	10:00~17:00					
6	江戸川区による 防災パネル展示コーナー	10:00~17:00					
7	卓上ミニ水路を使って 川の流れを学ぼう		①13:30 ~13:45	②14:30 ~14:45			
8	としのう朝市	10:00~15:00					
9	荒川ワンデー フードコート	10:00~17:00 ※一部15:00まで					
10	ミズノ走り方教室 ノルディックウォーク	10:00~16:00					
11	SU Lab. けん玉ワークショップ	10:00~17:00					

芝生エリア

1	土のう積み体験	10:00~17:00					
2	大型の働く車に 乗ってみよう	10:00~17:00					
3	水難救助隊による 救出実演	デモ① 11:30~11:50	デモ② 13:10~13:30				
4	排水ポンプ車と 照明車展示	排水① 10:20	排水② 14:00	10:00~17:00			
5	測量体験 「どこまでとんだかな、測ってみよう」	10:00~17:00					
6	荒川スカイツアー	10:00~17:00					
7	キッズおもちゃの バックホウ体験	10:00~17:00					
8	荒川が生んだキーホルダー	10:00~17:00					
9	東京消防庁による 広報展示	10:00~17:00					
10	地震体験車(起震車) 体験	10:00~12:00	13:00~14:30	15:00~16:30			

管理棟

荒川ロックゲート 操作室見学	① 10:05~10:35	② 11:05~11:55	③ 12:45~13:35	④ 13:45~14:35	⑤ 14:45~15:30	⑥ 15:45~16:30
荒川ロックゲート スペシャルコンサート ARAKAWA WANTED サイレントパフォーマンス	15:00~17:00					
	15:00~17:00					

リバーステーションエリア

1 荒川ロックゲート通船体験	①10:00~11:05	②11:00~12:05	③12:35~13:45	④13:40~14:45	⑤14:40~15:45	⑥15:40~16:45
2 船上ハゼ釣り体験	①10:15~12:05		②12:55~14:45		③14:55~16:45	
3 船カフェ	①10:30~11:20	②11:40~12:30	③13:20~14:10	④14:30~15:20	⑤15:40~16:30	
4 Eボート体験	①10:10~10:50	②11:00~11:40	③11:50~12:30	④13:10~13:50	⑤14:10~14:50	⑥15:00~15:40 ⑦15:50~16:30
5 大江戸日本橋めぐり	※事前予約制					
6 はしご車搭乗体験	①10:00~11:30		②13:30~15:00			

荒川ロックゲートフェス



荒川ロックゲート10周年記念イベント

参考資料 1



防災の第一歩は、水辺に集い親しむことから…ミズベリング

平成27年 **9月19日(土)**
雨天延期 21日(月・祝)
10:00~17:00



荒川ロックゲートとは?

ロックゲート(=閘門)とは、水位の異なる二つの河川を 行き来するための施設で、「エレベーター」のような役目を果たします。荒川と旧中川の水位差は最大3m以上にもなりますが、荒川ロックゲートが完成したことにより、荒川と隅田川に挟まれた“江東デルタ地帯”への水上交通が両方向から確保できるようになりました。これにより災害時における救援物資や復旧資材等の運搬、被災者の救出など災害復旧活動の支援が可能となりました。平成17年に完成し、本年で10周年を迎えました。



荒川ロックゲートフェス会場MAP

高水敷エリア

- カニ採り体験&投網見学、ボランティア体験** 整
・小松川自然地でカニをつかまそう！
・荒川で、ちょっといいことゴミ拾い、ボランティア体験をしてみよう！ 10:00より整理券配布
- 舟運の歴史散策ツアー** 受 ※事前予約制、当日枠あり
・江戸に向かう「塩の道」、昭和にできた「閘門」、舟運の歴史を探ります。
- 出張 荒川知水資料館**
・荒川の歴史や河川事業がよくわかる、タイムライン列車の展示もあるよ！
- 高機動車・野外炊具・防災パネル展示**
- 江東区による水害対策パネル展示コーナー**
- 江戸川区による防災パネル展示コーナー**
- 卓上ミニ水路を使って川の流れを学ぼう**
・東京大学工学部社会基盤学科河川/流域環境研究室による野外講座！
- としのう朝市 販**
- 荒川ワンデーフードコート 販**
・くず餅、フランクフルト、焼きそば、カレー、ドリンク等販売
- ミズノ走り方教室、ノルディックウォーク 販 受**
・広い荒川の空の下で体を動かしてみよう！
- SU Lab.(スーラボ) けん玉ワークショップ 販**

荒川スペシャルコンサート & パフォーマンス



15:00~17:00
開場は14:00~

管理棟エリア

ロックゲートエリア

高水敷エリア

芝生エリア

- 土のう積み体験**
・会場のみんなで東京五輪マークの完成を目指す土のう積み！
- 大型の働く車に乗ってみよう**
- 水難救助隊による救出実演**
- 排水ポンプ車と照明車展示**
・毎分30m³/Sの迫力の排水作業！
- 測量体験「どこまで飛んだかな、測ってみよう」**
- 荒川スカイツアー**
- キッズおもちゃのバックホウ体験**
- 荒川が生んだキーホルダー**
- 東京消防庁による広報展示**
- 地震体験車(起震車)体験**

管理棟エリア

荒川ロックゲートの操作室 整
・普段見られない操作室及び閘門上巻上室の見学！ 1~3回/9:45より 4~6回/13:00より 整理券配布

ロックゲートエリア

- 荒川ロックゲートスペシャルコンサート**
・亀淵友香、VOJA、江東区立明治小学校マーチングバンド、東京消防庁音楽隊、荒川のうた合唱団によるコンサート！
- ARAKAWA WANTED サイレントパフォーマンス**
・神出鬼没！会場内でGABEZを探そう！

リバーステーションエリア

- 荒川ロックゲート通航体験** 整
・災害対策支援船「あらかわ号」に乗って、約3mの水位調整を体験！(約45分程度) 第1~3回/9:45より 第4~6回/13:00より 整理券配布
- 船上ハゼ釣り体験** 有 整
・ロックゲートを通して小名木川、旧中川のハゼ釣り体験！(約105分程度) 9:45より 整理券配布
- 船カフェ** 販 整
・荒川で船上カフェ体験！(約40分程度) 9:45より 整理券配布
- Eボート体験** 整
・荒川で手漕ぎボート体験！(約40分程度) 9:45より 整理券配布
- 大江戸日本橋舟めぐり** 有 ※事前予約制、当日枠なし
- はしご車搭乗体験** 整
・第1回/10:00より 第2回/13:30より 整理券配布



2 大型の働く車に乗ってみよう

1 土のう積み体験



10 ミズノ走り方教室

11 SU Lab. けん玉ワークショップ

荒川下流におけるミズベリングの活動

ミズベリングは「水辺+RING(輪)」「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。
荒川下流では、住民、企業、行政が連携し、賑わい、美しい景観、豊かな自然環境を備えた水辺空間をまちづくりと一体となって創出する取り組みを進めています。



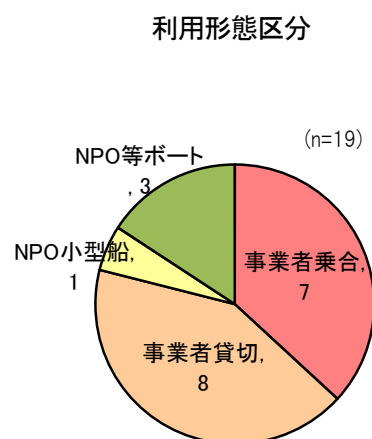
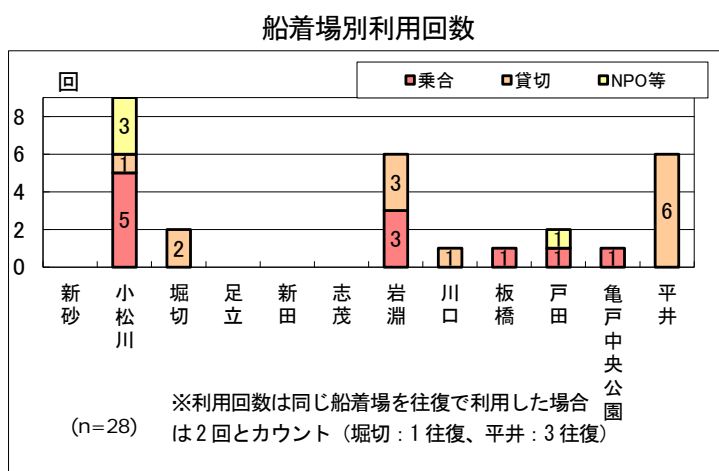
トイレ 案内所

リバーステーションエリア

受 受付が必要です。 販 販売物があります。 整 整理券を配布します。 有 有料のイベントです。

平成 26 年度の社会実験実施結果

- ・平成 26 年度は、7 月 1 日から 11 月 30 日に、12 箇所の防災船着場を対象に、自己責任を基本とした船着場ルール（ステップ 2）を試行する、社会実験をした。
- ・利用形態は、事業者貸切が昨年度より増加し、事業者乗合を上回り、最も多かった。
- ・対象船着場は延べ 28 回利用され、昨年度の 22 回より増加した。
- ・船着場別の利用回数は、小松川が最も多く、次に岩淵、平井が多かった。足立、新田、志茂は利用されなかったが、昨年度利用されなかった堀切は利用された。
- ・利用時期は、花火大会等があった 7 月下旬～8 月上旬と、10 月下旬から 11 月が多かった。



岩淵リバーステーション



小松川リバーステーション



戸田リバーステーション



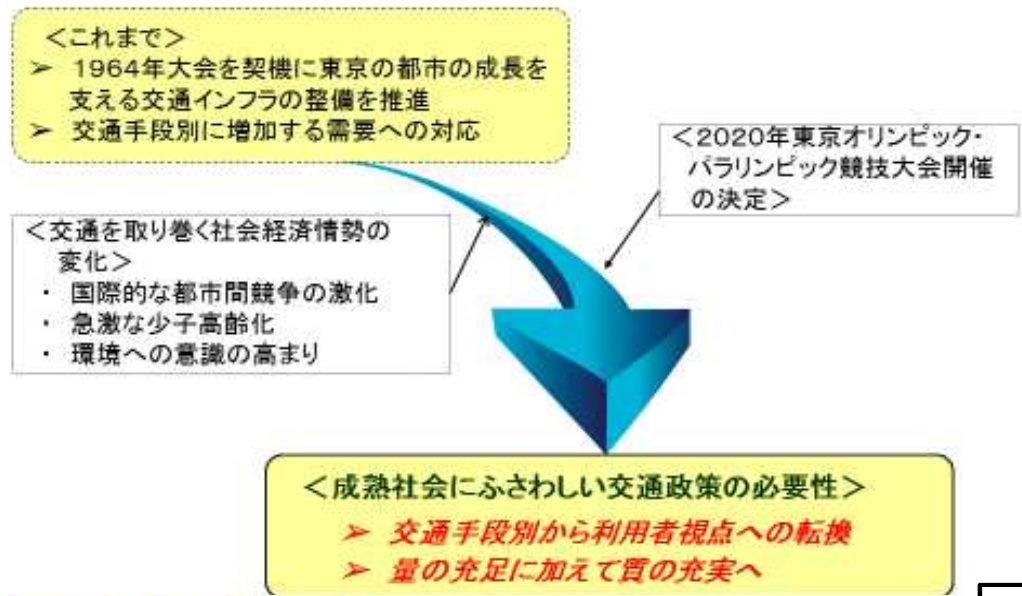
平井水上ステーション

船着場の利用状況写真

東京都の「利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議」①

<推進会議の位置付けと設置目的>

背景: 交通政策に関する考え方の転換



1

交通戦略の視点

2

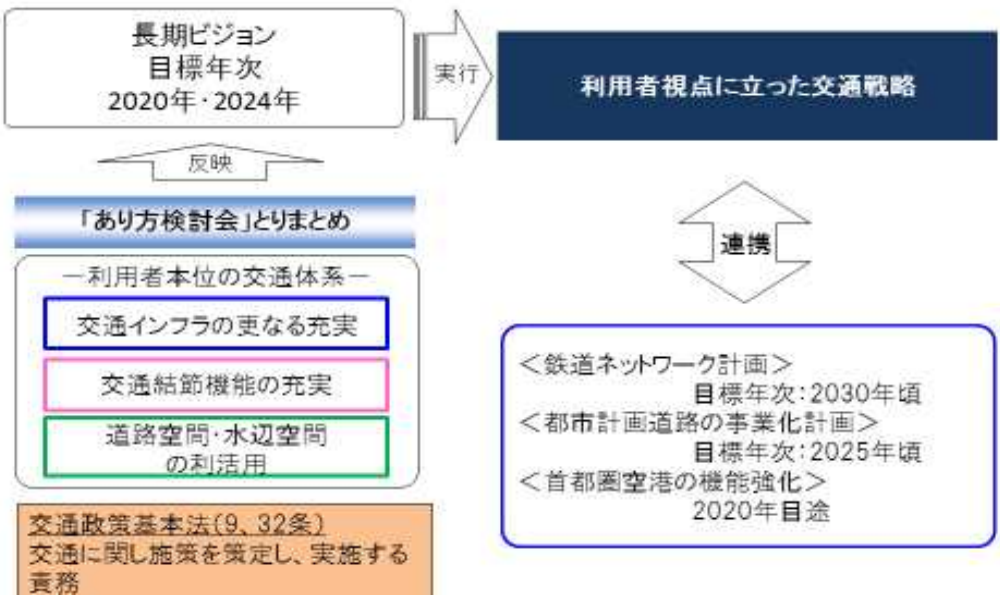
- **交通手段別から利用者視点への転換**
 - ～ 利用者の視点に立った便利で快適な交通体系
 - ・ 様々な利用者の視点(高齢者、外国人など)
 - ・ 連続した一連の移動に着目(乗継、経路選択など)
 - ・ 交通機関の能力を十分に活用(ネットワークの有効活用など)
- **量の充足に加えて質の充実へ**
 - ・ 世界レベルの豊かさを実感できる取組(健康、環境など多様な効果)
 - ・ 自動車に加えて身近な歩行、自転車などを重視(ディモータリゼーション)
 - ・ 安全安心の確保

交通戦略の位置づけ

3

推進会議設置の目的

4



- 背景・設置目的(趣旨)
- 「あり方検討会」のとりまとめを受け、2020年のオリンピック・パラリンピックや外国人来訪者の増加、高齢者人口の増加、人口減少を見据えて、利用者の視点に立った便利で快適に使える、戦術(具体的施策)からなる交通戦略の作成する。

(目標年次2020年)

推進会議での検討内容

5

- I 具体的な取組の策定（ワーキンググループ（WG）の設置）
- II 利用者視点によるわかりやすい目標・指標設定
- III 地域別戦略や各主体の役割分担の提示

推進会議 会議スケジュール

6

推進会議	
平成27年 7月31日(金)	第1回 交通戦略の位置づけ 交通戦略スキームおよびアウトカム指標の検討 WGの設置
平成28年 1月～3月	第2回 交通戦略のアウトカム指標の設定 WGの検討成果の確認 次年度以降の戦術の検討
平成28年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦術の確定 ・ 地域別戦略、各主体の役割分担の提示 ・ 交通戦略の今後の展開 ・ とりまとめ

東京都の「利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議」③

<戦術の策定(ワーキンググループ(WG)の設置)>

WGの設置

1



WGの位置づけと進め方

2

◇ 位置づけ

推進会議の下部には戦術を検討するためのWGを設置する。推進会議及び各WGにおける検討状況は相互に連携することとする。



◇ 進め方

1. 年3回程度で実施することを想定。
2. 各回のWG資料や意見交換の要旨については、ホームページ等で公開するなどして、広く意見を聴く。
3. WGで決定した事項については、各主体が具体的に実施することを前提とし、取組施策等の内容、実施主体、実施時期(ロードマップ)を決める。

水辺空間活用(舟運)WG

3

水辺空間活用(舟運)WG (アウトプットイメージ)

4

◇ 設置趣旨 ◇

- ・ 成熟社会にふさわしい東京の魅力を高める交通手段の活用を図るため、水辺空間の魅力向上に向けた、舟運の活性化に取り組む
- ・ 観光要素を加味した航路の充実の検討

<水上バス、水辺の賑わい(コペンハーゲン)>



<乗船場、案内サイン(ロンドン)>



I 羽田空港と都心・臨海を結ぶ航路の充実

II 舟を利用した観光ルートの拡充

III 航路や運航時間等一目でわかるPR施策の展開

IV 船着場と水辺空間の一体整備 (中長期的)

- ・ 船着場を活かした水辺のにぎわい拠点の形成
- ・ 水辺の臨遊動線の形成

<わかりやすい案内(ロンドン)>



<水辺の賑わい(コペンハーゲン)>



<舟運マップ(ロンドン)>



＜問い合わせ先＞

総合政策局 公共事業企画調整課

課長補佐 武藤 徹 (内線：24563)

事業調整第二係長 安部 雅宏 (内線：24524)

TEL：03-5253-8111 (代表)、課直通：5253-8912

FAX：03-5253-1551

国土交通省

平成27年8月25日

羽田～秋葉原間の舟運の実現を目指した社会実験を実施します

羽田空港から東京都心部への舟運の可能性を検証するため、羽田空港船着場～秋葉原(万世橋)の運航を試行的に行う社会実験を行います。

本実験では、採算性や利用者動向を確認するとともに、利用者へのアンケートを通じ改善点を洗い出す等、今後の本格的な運航に向けた検証を行います。

＜日時＞ 平成27年9月19日(土)～26日(土) 8日間

＜コース・運航時間＞

- ① 品川(天王洲) 10:30 → 羽田空港船着場 11:20
- ② 羽田空港船着場 11:30 → 秋葉原(万世橋) 14:00 (品川経由)
- ③ 秋葉原(万世橋) 15:00 → 羽田空港船着場 17:30 (品川経由)

※羽田空港国際線旅客ターミナルと羽田空港船着き場間は移動用無料バスを運行します。

＜料金＞

区間	大人	子ども
秋葉原～羽田空港船着場	2,900円 (3,500円)	2,000円 (2,500円)
秋葉原～品川(天王洲)	2,380円 (3,000円)	1,500円 (2,000円)
品川(天王洲)～羽田空港船着場	1,620円 (2,000円)	900円 (1,000円)

※上段は9月16日まで購入した場合、
下段()内は当日購入時の価格。

＜予約方法＞

運航会社(株)ジールのホームページから予約できます。(以下、アドレス)

<http://www.zeal.ne.jp/plan/203.html>

＜見どころ＞

- ・羽田空港から東京都心部間の最短ルート of 定期的な航路設定は初の試み
 - ・85年前のインフラ「船着き場」を活用(昭和5年竣工の万世橋たもとの船着き場)
 - ・神田川、隅田川、京浜運河に架かる橋梁群(30橋以上)
 - ・インバウンドもターゲットに、日本文化を伝える一つの取り組み
- (※)秋葉原で下船の方にはオプションツアー(有料)を実施します。
秋葉原の街や名所をご案内します。上記のホームページからご覧下さい。
(秋葉原タウンマネジメント株式会社)

＜試乗会＞

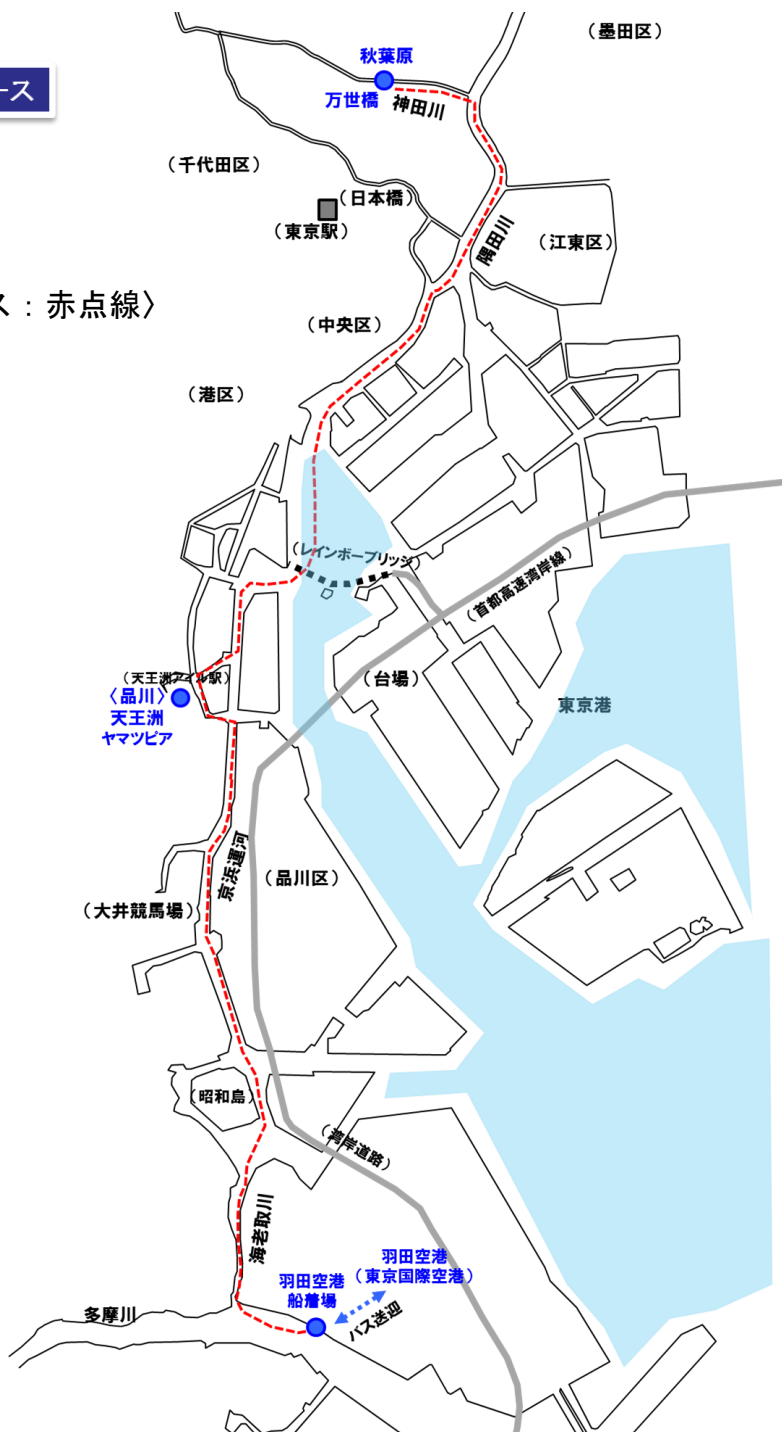
マスコミ関係者を対象とした試乗会を9月9日に実施します。(実験開始10日前)
希望者多数の場合は調整します。(※定員30名程度)

8月31日までに問い合わせ先までご連絡下さい。(国土交通省問い合わせ先に同じ)

(参考)

運行コース

〈運航コース：赤点線〉



〈実施主体〉 『秋葉原・天王洲・羽田空港舟運プロジェクト準備会』

千代田区
千代田区観光協会
秋葉原タウンマネジメント(株)
日本空港ビルデング(株)
(株)ジール
天王洲総合開発協議会
跡見学園女子大学
国土交通省

〈協力団体〉 「川の日」実行委員会

羽田発 ゆらゆら都心へ

船で2時間半 実験運航人気

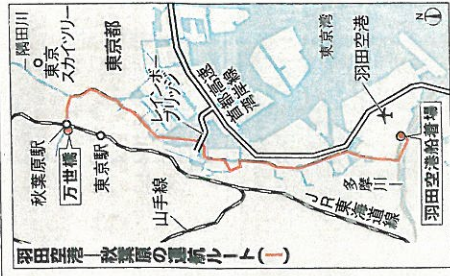
国際化が進む羽田空港と都心を、船で行き来する社会実験が行われている。増え続ける海外からの観光客に、まずは船の上から東京の街をのんびり眺めてもらい、東京の新たな魅力を発信するのがねらいだ。所要時間は片道2時間半。時間短縮に力を入れてきた空港からのアクセスに、新たな選択肢が生まれそうだ。

19日午前、40人乗りの水上バスが羽田空港をはなれ、秋葉原をめざして動き出した。頭上を飛行機が次々行き交う。乗客の一人、埼玉県会社員前田圭一さんは「羽田出発の船は珍しい。船からじっくり東京を見られるのが楽しみです」。船は自動車より少し速いぐらいのスピードでゆたかに進む。京浜運河を抜けて都心へ向かう。途中、天王洲の船着き場に立ち寄り、レインボーブリッジの下を通って隅田川へ。くぐり渡る8以上の橋の中には、手を伸ばせば届きそうなものもある。

川沿いの高層マンション群と東京スカイツリーを眺めながらさらに進む。屋形

船が浮かぶ神田川へ。秋葉原の万世橋のたもとにある船着き場まで、約20分かかる船旅だ。

この水上バスは、国交省発注の社会実験として19日から8日間だけ運航される。8月下旬の乗船券の発売直後から話題になり、当初予定していた1日1往復を最大で1日5往復に増便した。28日までは満席が続き、利用者は外国人を含む約800人いたのだった。運賃は区間ごとに船込み



1620円、3600円で、28日までの乗船券はほぼ売り切れている。国交省によるとおおむね好評な声が多く、「もう一度乗ってみたい」と話す人もいたという。運航するシトル(東京都港区)は、「見どころがたくさんある魅力的なコース(金野拓身社長)で訪日観光客を呼び込み、宿泊

運航につなげることを目指している。社会実験の期間中、船の運航時間に合わせて羽田空港の国際線ターミナルと船着き場の間を無料バスも走る。国交省の担当者は、「訪日外国人客にたくさん利用してもらい、観光ルートとして定着してほしい」と期待する。

移動と観光両立めざす

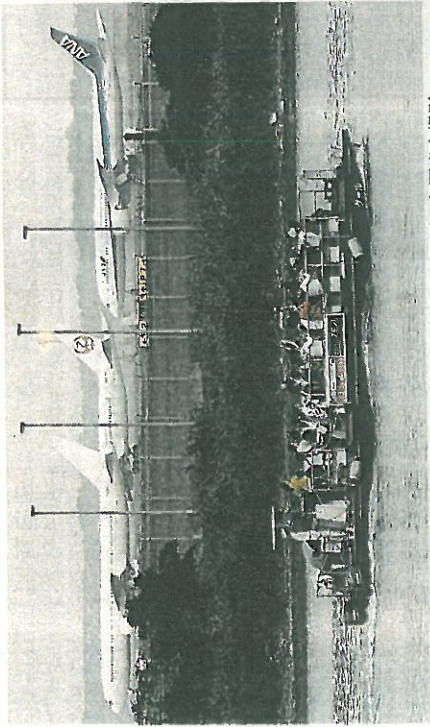
羽田や成田では、空港から都心までの時間を短めて利便性を高めるように、鉄道やバスによるアクセス交通の整備が進められてきた。羽田の国際線ターミナルからは現在、東京モノレールに乗れば、最短13分で浜松町駅に着く。

だが、今回の水上バスは、空港に降り立った旅行者が、都心まで移動しながら東京観光も楽しめる趣向だ。空港と市街地を結ぶ船便は、ほかに関西空港―神戸、中部国際空港―津などがあるが、いずれも陸路

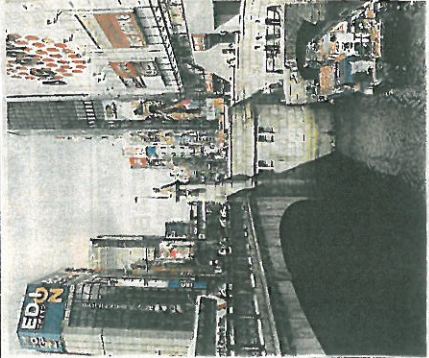
より短い距離を短時間で移動するためのもの。羽田から東京・台場と横浜に向かう船もすでにあるが、こちらは主に観光目的で、運航は週末のみだ。都心へのアクセスと観光を両立させる定期便をめざした今回のような試みはめずらしい。

移動と観光を両立する水上交通では、イタリアのベネチア空港と市街地を結ぶ船が知られている。旅行大手のJTBによると、「年齢や性別にかかわらず、広く人気があること。日本を訪れる外国人旅行

者は今年、過去最多だった。昨年の実績1184万1千人を大きく上回る1900万人に達する見通し。訪日観光客の急増を追い風に、羽田と都心を結ぶ水上バスもベネチアのような人気の定期航路にされるか。運輸会社や国交省などは社会実験を通じて、乗客の可能性や、載せきれない大きな荷物や、機内ではなかったサービス面の課題を探る。(野口聡)



羽田空港近くを航行する水上バス。19日午後、東京都大田区、角野貴之撮影



秋葉原の発着場は万世橋のたもとにある

2015.9.24(木)
朝日新聞 夕刊
[1面]

<問い合わせ先>

総合政策局 公共事業企画調整課

課長補佐 武藤 徹 (内線：24563)

事業調整第二係長 安部 雅宏 (内線：24524)

TEL：03-5253-8111 (代表)、課直通：5253-8912

FAX：03-5253-1551

国土交通省

平成27年9月28日

『羽田～秋葉原間の舟運の実現を目指した社会実験』

8日間の実験が無事に終了しました

羽田空港船着場～秋葉原（万世橋）の舟運社会実験は、9月19日（土）～9月26日（土）の8日間の全日程を終えましたこと、お知らせします。

（9月25日のみ雨天欠航）

実験への乗船参加者は、1,500名※を上回りました。

（※数字は速報値。実数は現在精査中。）

実験期間中の日別・航路別・船毎の乗船者数は以下の表の通りです。

多くの航路と船で設定定員（40名）に近い乗船率となりました。

羽田～秋葉原間舟運社会実験参加者〈集計表〉

(人)

合計参加者数	9月19日 (土)	9月20日 (日)	9月21日 (月)	9月22日 (火)	9月23日 (水)	9月24日 (木)	9月25日 (金)	9月26日 (土)
1,519	137	133	337	336	134	308	運休	134

〈1隻〉 〈1隻〉 〈3隻〉 〈3隻〉 〈1隻〉 〈3隻〉 〈雨天欠航〉 〈1隻〉

※速報値(乗船予約者数, 前日締め)

また、乗船された皆様にはアンケートにご協力頂きました。

アンケートは約1,270名分にのぼりました。

今次実験の実施主体の『秋葉原・天王洲・羽田空港舟運プロジェクト準備会』では、アンケート内容の確認や分析を進めています。

アンケート分析結果は、同準備会で諸検討するための貴重なデータとして活用するとともに、その概要は追ってお知らせする予定です。

船旅の活性化に関する取組について

観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015(平成27年6月観光立国推進閣僚会議決定)

<船旅関係部分抜粋>

3. 地方創生に資する観光地域づくり、国内観光の振興

(7) 日本の魅力を活かした船旅の活性化

○ 旅客船は、3000人規模の大型クルーズ船や日韓定期航路など日本を訪れる外国人旅行者のための訪日手段、また、国内の交通手段・観光資源として、重要な役割を果たしている。しかしながら、島国日本の豊富な海洋観光資源に鑑みれば、手軽な船旅を期待する日本人に訴求する旅行商品の造成など、まだまだ市場開拓の余地は大きい。オリンピック・パラリンピックが控える東京や、多島美・「しまなみサイクリング」が海外でも人気の瀬戸内、歴史的・文化的遺産にあふれる長崎等、日本各地を海路で結んで海からの景色や各地の魅力を楽しませる船旅を活性化させ、日本を訪れる外国人旅行者の期待に応えるとともに、日本人にとっても国内クルーズ・船旅が身近になるような環境整備を進める必要がある。

・ 国土交通省・観光庁、旅客船事業者、観光関係者等が集まって「船旅活性化協議会」(仮称)を立ち上げ、カジュアルクラスなどのクルーズサービス、国内フェリー、離島航路、遊覧船など様々な船旅の選択肢をわかりやすく提示するとともに、キャンペーンを通じて利用促進を図ることにより、船旅が身近になる取組を進める。【新規】

・ 手軽に・短期間で国内クルーズを楽しめるよう、定期航路を就航する船舶が定期検査のためにドック回航する機会を活用して、「オフルート・クルーズ」(仮称)として商品化を図る。【新規】

・ 官民が協力して、瀬戸内海の魅力を国内外に発信するとともに、フェリー等を活用して瀬戸内海を周遊する旅行商品の造成を進め、その定着を図る。【新規】

・ 東京ベイエリアにおける屋形船や水上バスを活性化させるため、共通の航路マップの作成、初めて利用する日本人や外国人にも手軽に楽しめる企画商品の開発、海外の旅行業者の乗船体験等を実施する。

【改善・強化】

- 旅客船は、国内の交通手段・観光資源として重要な役割を果たしているが、島国日本の豊富な海洋観光資源に鑑みれば、手軽な船旅を期待する日本人に訴求する旅行商品の造成等、市場開拓の余地は大きい
- 海からの景色や各地の魅力を楽しませる船旅の魅力を活性化させ、日本を訪れる外国人旅行者の期待に応えるとともに、日本人にとってもクルーズ・船旅が身近になるような環境整備を進めることが必要

1. <船旅活性化協議会(仮称)の設置>

国土交通省・観光庁、旅客船事業者、観光関係者等で構成し、フェリー、遊覧船等の様々な船旅が身近になる取組を検討

○ フェリー等を活用した瀬戸内海を周遊する旅行商品の造成

フェリー等を活用して瀬戸内海を周遊する旅行商品の造成を進め、定着を図る



瀬戸内海の多島美

○ 手軽に楽しめる国内クルーズの展開

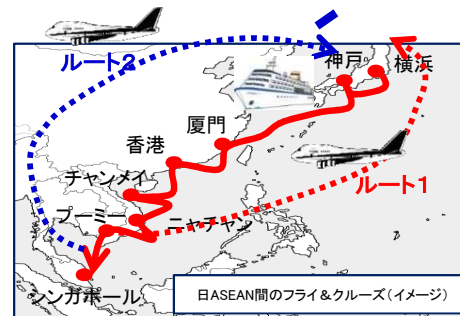
定期航路のドック回航を利用した取組例を参考に、手軽に楽しめる国内クルーズの全国展開を図る



ドック回航を活用したクルーズの例

○ 日ASEAN連携によるクルーズの振興

日本とASEANをつなぐクルーズルートへの調査やシンポジウムを通じた情報発信、人材育成等により、日本へのフライ&クルーズの利用促進を図る



2. <東京の水上交通の魅力発信と企画商品の造成>

東京ベイエリアにおける屋形船や水上バスを活性化させるため、共通の航路マップの作成、初めて利用する日本人や外国人にも手軽に楽しめる企画商品の開発、海外の旅行業者の乗船体験等を実施



屋形船を楽しむ外国人



東京の水上バス